

サステナビリティ経営実現のための ビジョン・戦略策定

中長期的な企業価値向上のため、企業に対してCSR・ESG・サステナビリティ（事業や環境・社会の持続可能性）に配慮した経営を求める声が、投資家や社会から高まっています。

加えて、先進的な企業は自らが目指すサステナブル（持続可能）な社会像・ビジョンを積極的に発信することで、顧客・従業員・調達先等への求心力とし、競争優位を築いています。

三菱総合研究所のシンクタンク機能を通じて培った、中長期的な環境・社会動向に関する知見と、幅広い業界におけるビジョン・経営戦略コンサルティングの豊富な実績をベースとして、サステナビリティ経営実現をご支援します。

サステナビリティ経営の3つの段階

MRIの貢献

1

リスクへの対応

- 原材料生産や工場での環境・社会問題に起因する、調達の不安定化や報道等による企業イメージの悪化に至るリスクへの対処

具体例 調達ポリシーの策定、サプライヤーの監査、原料産出地・工場立地コミュニティへの投資等



豊富な実績に基づく確かなリスクの特定、評価、対応策検討

- 事故・批判事例や基準・規制の動向調査実績を基に、サプライチェーン分析を通じたリスクの洗い出し、定量評価を実施
- 注視すべき動きを特定しモニタリングも可能
- リスクが顕在化した際の影響評価や、対応策検討の支援も実施

2

事業機会への対応

- 社会課題の解決を事業機会として捉えた、既存事業の拡大、新規事業の創出、または企業イメージの向上等による同業他社との差別化

具体例 低所得者層向けの製品開発による新興国市場での先行者利益の獲得



環境・社会課題への深い理解とビジネス視点での解釈

- シンクタンク機能を通じて培った、SDGsを始めとする社会課題の知見を、MRIのコンサルタントがビジネス視点で翻訳し、新規事業の検討、戦略策定、実行まで一貫して支援

3

ビジョン創出による差別化

- 自らが目指す社会像・ビジョンを発信することで、顧客・サプライヤー等への求心力とし、競争優位を築く

具体例 野心的な環境目標を掲げ、実現に向けたパートナー協業を通じたイノベーションの創出



長期将来予測に基づくサステナビリティビジョン策定支援

- シンクタンクならではの、10年以上先を見据えた将来予測やシナリオ分析に基づき、具体性の高い議論が可能
- あるべき社会を語りつつ、自社の事業コンセプトやビジネスモデル革新を中核に据えた、戦略的な観点を明確化

**MRIは、ビジョン・戦略策定を通じ、
貴社のサステナビリティ経営の実現をご支援します！**

特徴

政治・経済・社会・技術の各分野の長期的見通しと、環境・社会課題への深い理解を有すると同時に、経営視点でそれを解釈し、ビジョン・戦略に落とし込みます

社会課題の長期見通しと最新動向の把握

■ 専門領域の例

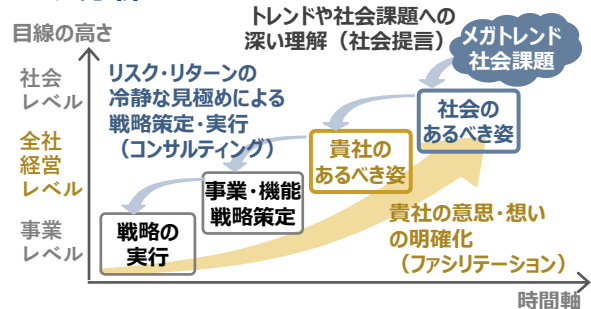
ウェルネス	エネルギー・環境・資源
交通・物流	食料・農業
社会インフラ・まちづくり	地域創生
防災	セキュリティ
教育・人材育成	働き方改革

■ MRIの知見・情報源

数十年	中長期経済展望、未来社会提言等の社内研究
時間軸	官公庁の調査業務や政策提言を通じた蓄積
	ネットワークを有する有識者・企業等との意見交換
	定常的な情報モニタリング（報道、Web）
数日	

シンクタンクとして培った、社会課題の知見や今後数十年の長期的な見通しに加え、短期的に経営に影響を与える事象もタイムリーに把握

理想の社会像や企業のあるべき姿を見据えつつ経営視点で価値やリスクを戦略的に分析



詳細なメガトレンド・社会課題を起点にしつつ、貴社とのディスカッション・ファシリテーションを重視し、あるべき姿を議論し、経営視点で戦略に落とし込む

アウトプット

サステナビリティ経営の段階に応じ、リスクマネジメント、新規事業創出、ビジョン・経営戦略の策定まで、幅広くかつ経営に直接活きるアウトプットをご提供します

環境・社会リスクのモニタリングと経営へのインパクト算定等

中長期・短期、双方の時間軸から、貴社経営・事業に関するリスクの俯瞰的整理・モニタリングと定量評価

詳細シナリオ	損失金額	計算式・根拠
影響・項目A: 顧客離反	X億円	【欧州のEU税関貿易利益会計 (A1)】×【稼働率 (A2)】×【稼働期間 (A3)】 A1: XXX億円・XX億円・XX億円、×20% = XXX億円 A2: 80%、A3: 2年
影響・項目B: 調達先の変更	XXX億円※	【定価に付加する材料価格上昇 (B1)】×【営業利益の構成率】×【稼働期間】 B1: 構成比20%分 = XXX円/円 営業利益の構成に対するコスト感度 = XX億円/円 (円/円) と仮定。 影響は6か月間 (=0.5年) を想定。
合計	XXX億円	

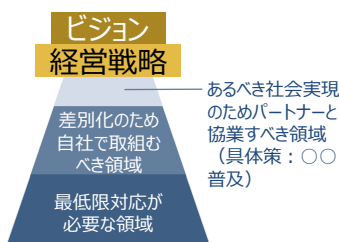
社会課題を起点とした新規事業機会の探索と戦略策定

社会課題起点の事業アイデア出しにとどまらず、市場規模、成功要因 (KSF) を含め、サステナビリティ経営を通じた持続的競争優位の獲得を重視

事業概要・方向性	戦略性
<ul style="list-style-type: none"> 事業概要 展開地域 対象とする社会課題 想定市場規模 貴社として取り組む理由・狙い 	<ul style="list-style-type: none"> 成功要因 (KSF) 例) ①現地政府とのコネクション、②安価なシステム開発 KSF充足戦略 例) ①国際機関Aと協業、②XXコスト削減への重点投資 サステナビリティ経営による競争優位性 例) BOP層の経済的自立を支援することで、数億人規模の潜在顧客へのチャネルとブランド嗜好性を獲得

ビジョン創出と実現に向けた戦略・ステップの明確化

貴社の意思・想いを、詳細な予測・分析と、経営視点により裏付けすることで、**納得性・実効性の高い骨太のビジョン・戦略を策定**



- 【検討アプローチ例】
- 外部環境調査
中期的な貴社経営の機会とリスクを分析
 - 内部環境調査 (社内ヒアリング等)
貴社の強みや中期的なありたい姿を明確化
 - ビジョン・経営戦略策定
リスク対応で取組むべき、及びビジョン実現のために伸ばすべき水準を明確化し、戦略・計画策定

実績

MRIは、短期的なリスクマネジメントから、中長期のビジョン・戦略策定まで、幅広い業界で多数の実績を有しております

【サステナビリティ経営ビジョン・戦略策定】

- 中長期環境ビジョン策定 (電機、建設、自動車、他多数)
- 自然資源の持続的調達戦略策定 (商社、他多数)
- サステナビリティ関連商品・事業開発 (金融、電力)

【リスクマネジメント・モニタリング】

- 環境・社会リスクモニタリング (商社、他多数)
- 環境・社会リスク定量評価と対応方針策定 (商社、自動車) その他多数

お問い合わせ先

株式会社 三菱総合研究所

営業本部 TEL : 03-6858-3493 Email : service@mri.co.jp

(担当 デジタルイノベーション部門 ビジネスコンサルティング本部 杉下、藤澤)

MRI 三菱総合研究所